

親子ふれあい企画（プログラミング体験）

平成 28 年 12 月 10 日

札幌市立豊平小学校 PTA おやじの会

<今日やったこと>

- 「Hour of Code」という取り組みの「古典的な迷路」に挑戦しました。
<https://code.org/>
<https://studio.code.org/hoc/1>
- プログラミングの基本要素、「順次（プログラムに記された順に処理を実行していくこと）」「反復（繰り返し）」「分岐（条件判断）」を体験しました。ブロックを組み合わせたパズルのようなものでしたが、これもプログラムのひとつです。

<子どもたちへ>

今日はプログラミング体験をしました。みんなが遊んでいるテレビゲームはプログラムそのものでできていますし、身のまわりの電化製品や自動車、街のなかにある機械のほとんどにプログラムが含まれています。そのようなプログラムを作っている人たちは、プログラマーやシステムエンジニアと言われる職業の人たちで、プログラムを作るための技術を身につけています。

もしも今日の体験をキッカケに、プログラマーやシステムエンジニアに興味を持ったなら、まだまだ時間はたくさんありますので、自分の力で少しずつプログラミングの知識や経験を増やしていくと良いでしょう。今なら失敗しても何度でもやり直せるので、「まずはやってみる」、そして「挑戦しつづける」ことが大切です。10年後、みなさんが就くことができる職業の幅が広がっていることでしょう。

<保護者の方へ>

本日はお忙しいところ、ご参加ありがとうございました。社会のなかにどのような職業があり、お父さんお母さんはどのようなお仕事をされていて、将来はどのような職業に就きたいのか、ご家庭のなかで子どもたちとお話するひとつのキッカケになればと思い、このようなイベントを開催しました。

今回はソフトウェア開発のお仕事を少しでもイメージしてもらおうと、このようなプログラミング体験を行いました。10年後、20年後の未来を想像しますと、プログラミングを知ることは他のさまざまな業種業界においても基本的な能力として必要になってくるものだと考えています。もしも本日のイベントをキッカケに、お子さまがプログラミングについて少しでも興味を持たれたようでしたら、Hour of Codeのほかの教材もぜひ試していただき、さらに興味を引き出していただけると嬉しいです。